

2020 年度 ヒアリングシート〔主要事業意見交換・サマーヒアリング〕

総合計画
施策番号 1-1-4

事務事業名	民有林振興事業	所属部門	農林課 農林係
町長公約	森林環境税財源を活用し、民有林の計画的な維持管理を支援します。	公約達成年次	2022

◆ 検討課題と解決策

	主要事業意見交換	サマーヒアリング(主要事業意見交換対象事業は進捗状況も記載)
検討課題・解決策	<p>1 検討課題 森林環境譲与税の譲与が始まり、新たな森林経営管理制度による民有林整備に係る財源のほか、森林の整備や普及啓発等、国が定める広く森林整備を促進するための財源として活用することとなりました。これにより、国・道からは、早期の譲与税事業の開始を求められています。</p> <p>2 解決策 森林所有者意向調査により所有者の森林経営に係る意向を把握し、民有林の整備促進に必要な支援の実施を行わなければならないことから、森林組合等の関係機関で構成する森林整備計画実行管理推進チーム会議で森林整備の促進に効果的な支援事業や普及啓発事業を検討し、令和3年度からの段階的な実施を目指します。</p>	
コメント		

◆ 業務スケジュール

業務詳細	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
意見交換 町内森林整備事業者との協議		● 現状把握	● 課題抽出	● 課題協議	● 事業検討	● 事業協議	● 事業協議	● 事業協議	● 事業実施準備	● 事業実施準備	● 事業実施準備	● 事業周知
サマヒア												
意見交換 森林整備計画実行管理推進チーム会議						● 譲与税事業の検討				● 譲与税事業の確認		● 譲与税事業の確認
サマヒア												
意見交換 森林所有者意向調査		● 調査委託業務契約	● 調査委託業務契約	● 文書・調査票の確認	● 所有森林の現況資料の確認	● 所有森林の現況資料の確認	● 所有森林の現況資料の確認	● 調査票返送者の対応	● 調査票返送者の対応	● 調査票返送者の対応	● 調査委託業務完了	● 調査委託業務完了
サマヒア												
意見交換												
サマヒア												
意見交換												
サマヒア												
評価・計画・予算の年間スケジュール(予定)		★ 事務事業評価提出	★ 事務事業評価提出	★ サマヒア提出	★ 実行計画提出	★ 実行計画提出	★ 実行計画提出	★ 予算提出	★ 予算提出			

* 推進のための具体的な内容と時期について記載してください。矢印で期間を示すのではなく、実施予定時期を明示します。
*一番下の行は削除しないでください。

森林環境譲与税の活用に向けた基本方針
～当面5年間（令和元年度～令和5年度）の考え方～

（芽室町）

本町の総面積 51,376 ヘクタールのうち森林面積は 21,793 ヘクタールで、総面積の 42% を占めており、そのうち町有林は 1,132 ヘクタール、町有林を除く一般民有林（私有林等）は 5,271 ヘクタールで森林面積の 24% となっています。

町では、森林の有する多面的機能の持続的な発揮に向けて、これまで国や道の森林整備事業予算や町単独予算などにより森林の整備を進めてきましたが、木材価格の低迷による森林所有者の経営意欲の低下や森林所有者の不在村化^{注1}、相続による世代交代などから整備が行き届かない森林の増加が懸念されます。このため、本町では、国から譲与される森林環境譲与税を有効に活用して、次の方針に基づき、適切な森林の整備やその促進につながる取組を計画的かつ効果的に進めます。

注1：山林の所在地と山林保有者の居住地が同一市区町村内でないこと。

1 森林整備の推進

本町の私有林では、森林経営計画を作成し、所有者自らが整備を進めている森林は 5 割（全国：3 割）を占めており、計画的な森林の整備が進められています。このため、一部の整備が行き届かない森林の所有者に対しては、町や意欲と能力のある林業経営者などに森林の経営・管理を委ねるよう働きかけるとともに、経営計画を作成している森林については、森林環境譲与税を活用して森林の整備を一層推進し、地球温暖化や山地災害の防止に貢献する森林整備を推進します。

2 人材育成・担い手確保

町内で森林整備事業等を実施し、北海道林業事業者登録制度に登録している事業者は 4 社ありますが、就業者の高齢化が進むとともに、新規就業者の確保が難しい状況にあります。このため、地域の関係者と連携を図りながら、新規就業者の確保や通年雇用化の促進、就業環境の改善など、林業就業者の安定確保に向けた取組を進めます。

3 木材利用の促進

町内の利用期を迎えたカラマツなどの人工林資源について、FSC 森林認証の推進により町内産木材の差別化を図るなど、町内産人工林材の付加価値向上の取組を進めます。

4 普及啓発

土砂災害の防止や防風効果など、森林の果たす役割や多面的機能、森林整備の必要性などについて、町民の理解促進を図るため、町有林を活用した森林環境教育や植樹活動のほか、住民と交流する木育活動などを進めます。

2020年度ヒアリングシート〔主要事業意見交換・サマーヒアリング〕

総合計画
施策番号

1-1-2

事務事業名	農作物有害鳥獣駆除事業	所属部門	農林課 農産係
町長公約	農作物有害鳥獣対策の強化	公約達成年次	2022年

◆ 検討課題と解決策

	主要事業意見交換	サマーヒアリング(主要事業意見交換対象事業は進捗状況も記載)
検討課題・解決策	<p>1 検討課題</p> <p>(1) 生息範囲を拡大させているアライグマ対策の継続。</p> <p>(2) 農作物被害額の大きいエゾシカ対策の新たな展開。</p> <p>2 解決策</p> <p>(1) 昨年度、わな免許を所持していなくてもわな捕獲が可能になる「アライグマ防除講習会」を2回開催し、農業者を中心に計25名が防除従事者となった。</p> <p>今年度も開催を継続し、農業者等自らがアライグマを捕獲する体制を構築していく。</p> <p>(2) 昨年度、侵入防止柵の設置について、専門業者や管内自治体から聞き取りを行った結果、①設置場所の選定②設置・管理費用③管理体制(管理組合設立)などクリアするハードルが高いことが分かった。</p> <p>一方、囲いわなにおいては、①設置場所の移動可②設置・管理費用の助成(10/10)③個体数の削減④ジビエ利用など、侵入防止柵と比較し有利な点が考えられることから、囲いわなによるエゾシカ対策を併せて検討する。</p>	
コメント		

◆ 業務スケジュール

業務詳細		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
意見交換	有害鳥獣対策協議会	● 総会	● カメラ設置、検証							● 被害調査			
サマヒア													
意見交換	電気柵の設置助成		● 実績報告	● 助成金支払(随時)									
サマヒア													
意見交換	狩猟免許取得助成		● 周知(広報誌・FAX)		● 実績報告・助成金支払								
サマヒア										● 実績報告・助成金支払			
意見交換	アライグマ対策	● 箱わな設置 (通年)							● 講習会			● 講習会	
サマヒア													
意見交換	エゾシカ対策	● 西部十勝 鳥獣対策 協議会に よる協議											
サマヒア													
	評価・計画・予算の 年間スケジュール(予定)		★ 事務事業 評価提出		★ サマヒア提出	★ 実行計画提出				★ 予算提出			

* 推進のための具体的な内容と時期について記載してください。矢印で期間を示すのではなく、実施予定時期を明示します。

* 一番下の行は削除しないでください。

2020年度ヒアリングシート〔主要事業意見交換・サマーヒアリング〕

総合計画
施策番号

1-1-2

事務事業名	哺育育成施設整備事業	所属 部門	農林課 畜産係
町長公約	哺育育成施設の建設と運用	公約達成 年次	2021年

◆ 検討課題と解決策

	主要事業意見交換	サマーヒアリング(主要事業意見交換対象事業は進捗状況も記載)
検討課題・解決策	<p>1 検討課題 哺育育成施設の建設工事の実施、償還金等協定の締結及び利用料金に係る条例改正、委託契約方式等の施設供用開始に向けた準備を年度内に実施する。</p> <p>2 解決策 (1) 建設工事の実施 補助事業上、年度内に建設工事を終了する必要があるため、入札等の準備を行う。入札後、建設事業者、JA等関係機関を交えた工程会議を実施。 (2) 協定の締結、条例改正 建設事業費の償還等、町とJAの取り決めについて検討を行う。 (3) 委託方式の検討、供用開始に向けた準備 協定等と同時並行で委託方式について検討。供用開始に向けた準備を年度内に終了させる。</p>	
コメント		

◆ 業務スケジュール

業務詳細		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
意見交換	建設工事	● 確認申請		● 仮契約	● 本契約	● 工程会議 (随時開催)							● 完成
サマヒア													
意見交換	協定、条例			● 協議			● 協議			● 条例改正			
サマヒア													
意見交換	委託方式等準備			● 協議			● 概要案 策定						
サマヒア													
意見交換													
サマヒア													
意見交換													
サマヒア													
	評価・計画・予算の 年間スケジュール(予定)		★ 事務事業 評価提出		★ サマヒア提	★ 実行計画提出			★ 予算提出				

* 推進のための具体的な内容と時期について記載してください。矢印で期間を示すのではなく、実施予定時期を明示します。

* 一番下の行は削除しないでください。

2021年度 実行計画事業調書

会計	一般	施策番号	1-1-2	所属部門	農林課 畜産係
----	----	------	-------	------	---------

◆ 基本事項

事務事業評価単位	哺育育成施設整備事業	事務事業		年度	企画財政課長	推進委員会	理事者
町長 公約	哺育育成施設の建設と運用		2021年	2021			
				2022			
				2023			

◆ 事業全体に関する担当課の考え方

1. 事務事業の現状と課題 農家戸数の減少に伴う1戸あたりの飼養頭数の増加や担い手の高齢化による労働力不足、増頭に伴う牛舎等の容量不足、飼料価格の高止まりなど、本町酪農業には様々な課題がある。 こうした町内酪農家が個々で解決することが難しい課題を公共として解決し、本町の酪農振興を行うため平成29年12月に「芽室町における酪農基盤整備構想」を策定した。	2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 酪農基盤整備構想及び芽室町哺育育成施設整備基本計画に基づき哺育育成施設を整備する。建設工事を令和元年及び2年で実施し、令和3年度からの供用開始を予定。
--	--

3. 実行計画に計上した理由

--

◆ 年度別事業概要と事業費

単位 [千円]

2019年度(決算)		2020年度(予算)		2021年度(計画)			2022年度(計画)			2023年度(計画)		
事業内容	金額	事業内容	金額	事業内容	金額	変更後	事業内容	金額	変更後	事業内容	金額	変更後
計	0	計	0	計	0	0	計	0	0	計	0	0
特定財源		特定財源		特定財源			特定財源			特定財源		
国・道支出金	0	国・道支出金	0	国・道支出金	0	0	国・道支出金	0	0	国・道支出金	0	0
地方債	0	地方債	0	地方債	0	0	地方債	0	0	地方債	0	0
その他	0	その他	0	その他	0	0	その他	0	0	その他	0	0
一般財源	0	一般財源	0	一般財源	0	0	一般財源	0	0	一般財源	0	0

◆ 企画財政課長ヒアリング意見

◇ 企画財政課長ヒアリング意見に対するコメント

◆ 総合計画推進委員会ヒアリング意見

--

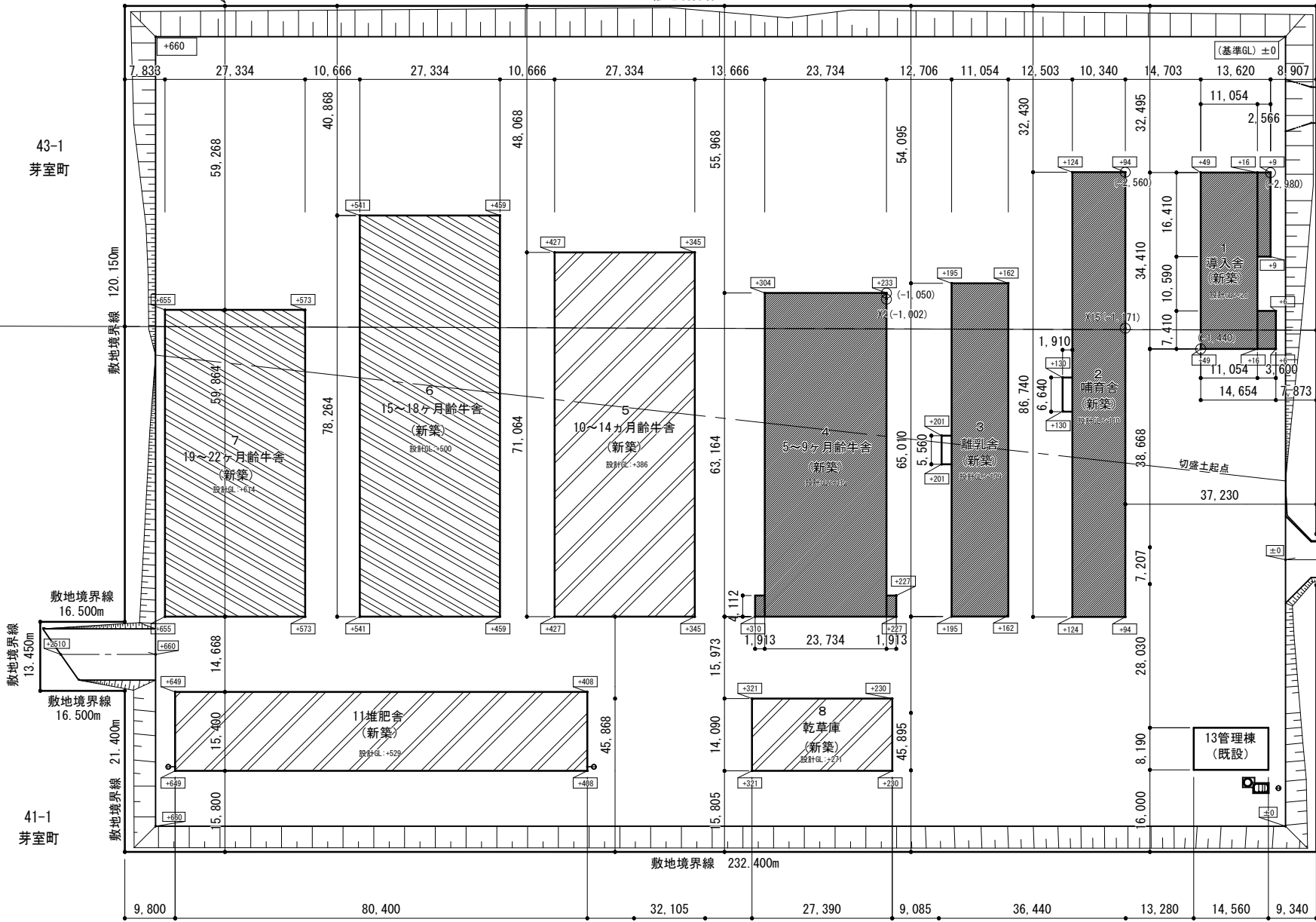
◆ 理事者ヒアリング意見

--

敷地境界線 232.400m

参考資料

43-1
芽室町



敷地境界線
13.450m

敷地境界線
16.500m

敷地境界線
16.500m

41-1
芽室町

敷地境界線
21.400m

敷地境界線 232.400m

敷地境界線 103.000m

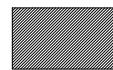
敷地境界線 10.509m

敷地境界線 10.463m

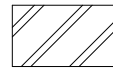
敷地境界線 52.000m

敷地境界線 10.000m

41-3



第1工区



第2工区



第3工区

2020 年度 ヒアリングシート [主要事業意見交換・サマーヒアリング]

事務事業名	道営土地改良事業参画事業	所属部門	農林課 土地改良係
町長公約	1 農業を軸として活かした産業と人の集うまち めむろ ・道営土地改良事業と団体営土地改良事業の効果的活用	公約達成年次	継続実施

◆ 検討課題と解決策

	主要事業意見交換	サマーヒアリング(主要事業意見交換対象事業は進捗状況も記載)
検討課題・解決策	<p>【事業内容】 北海道が事業主体となる「道営土地改良事業」に参画し、農村地域を巡回するかたちで計画的な農地の基盤整備を進める。今年度は、継続地区である雄馬別第2、芽室西、芽室北第2、芽室北第3、河北(営農用水)の計5地区の整備を実施。</p> <p>【課題】 継続地区が長期化し、新規地区の採択着手が遅れている。</p> <p>【解決策】 ・事業推進の目標となる、「道営土地改良事業の進め方」「中長期計画」に基づき事業主体と調整を図りながら計画的に事業推進する。 ・新規地区として、美生地区採択に向けた取組を進める。</p>	
コメント		

◆ 業務スケジュール

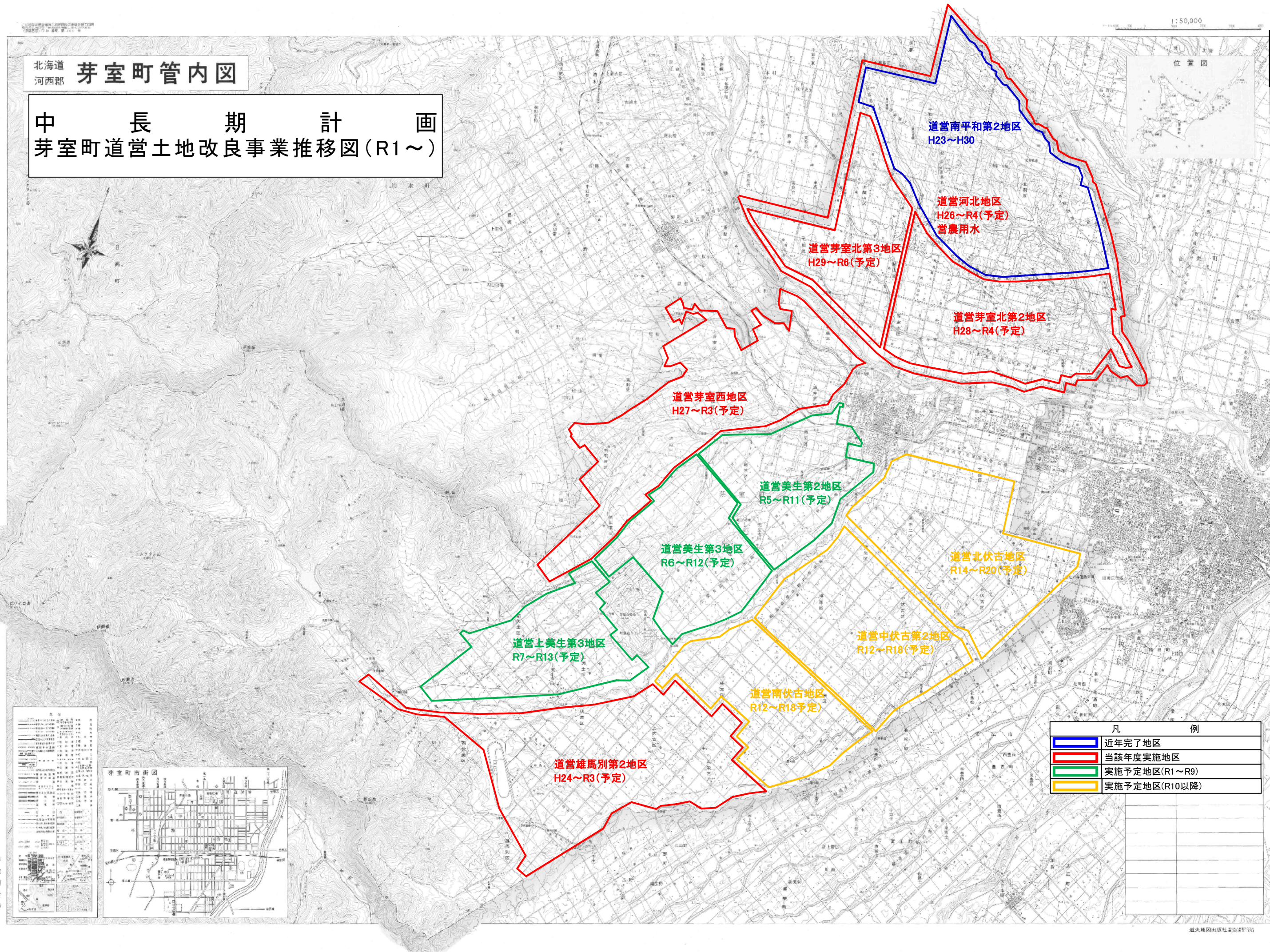
業務詳細		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
意見交換	道営土地改良事業 継続地区 工事調整	● 期成会総会 (新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	●	●	●	●	●	●	●	● 次年度分 作付け圃取り調整	●	● 次年度分 道・農家調整	●
サマヒア													
意見交換	地元負担金支払										● 負担金 概算払		● 負担金 精算
サマヒア													
意見交換	受益者負担金 徴収								● 受益者負 担金算定	● 概算額 通知	● 借入申請	● 受益者負 担金確定	● 確定額 通知
サマヒア													
意見交換	道営土地改良事業 新規美生地区	● 振興局 計画担当協議	●	● 地区管理計画 ヒアリング									
サマヒア													
意見交換	道営土地改良 モデル事業(R2~R6) 芽室びせい地区			● 芽室びせい地区 推進協議会									
サマヒア													
	評価・計画・予算の 年間スケジュール(予定)		★ 事務事業 評価提出		★ サマヒア提出		★ 実行計画提出			★ 予算提出			

* 推進のための具体的な内容と時期について記載してください。矢印で期間を示すのではなく、実施予定時期を明示します。

* 一番下の行は削除しないでください。

中 長 期 計 画
芽室町道営土地改良事業推移図(R1~)

参考図1
中長期計画



道営南平和第2地区
H23~H30

道営河北地区
H26~R4(予定)
営農用水

道営芽室北第3地区
H29~R6(予定)

道営芽室北第2地区
H28~R4(予定)

道営芽室西地区
H27~R3(予定)

道営美生第2地区
R5~R11(予定)

道営美生第3地区
R6~R12(予定)

道営北伏古地区
R14~R20(予定)

道営上美生第3地区
R7~R13(予定)

道営中伏古第2地区
R12~R18(予定)

道営南伏古地区
R12~R18(予定)

道営雄馬別第2地区
H24~R3(予定)

凡 例	
■ (Blue)	近年完了地区
■ (Red)	当該年度実施地区
■ (Green)	実施予定地区(R1~R9)
■ (Yellow)	実施予定地区(R10以降)